

## 2026 年度事業計画及び予算計画

2026 年 1 月 23 日  
 一般社団法人日本中華總商會  
 事務局

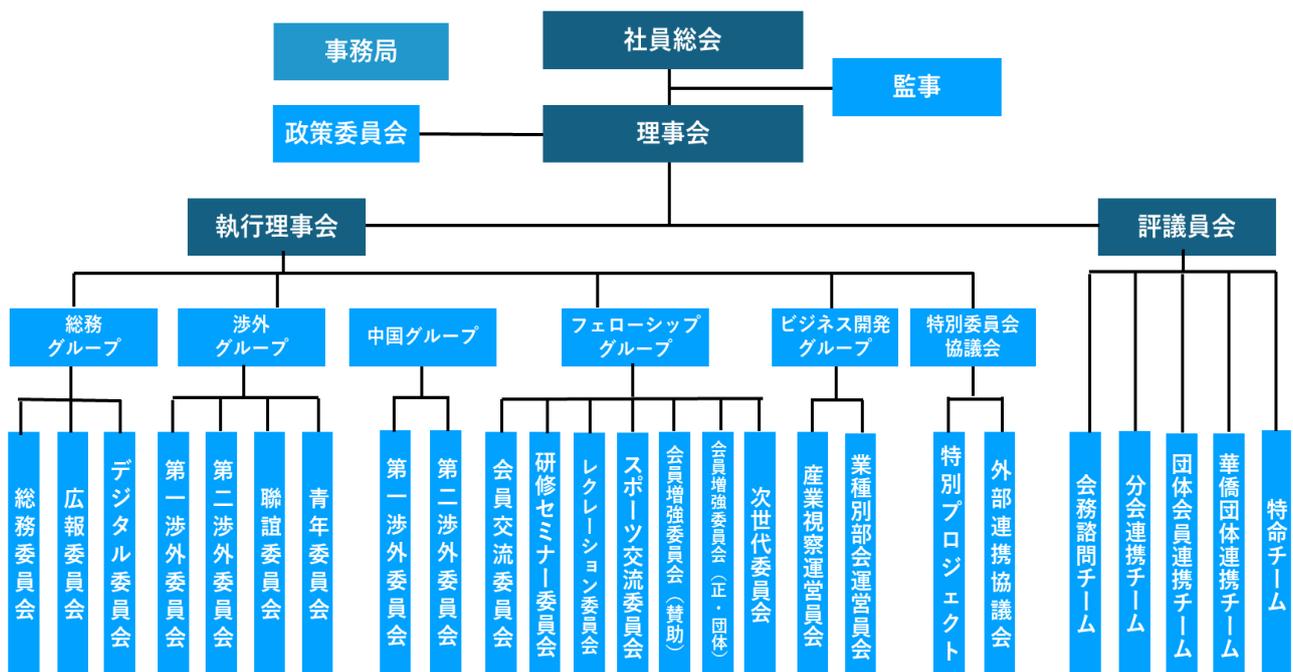
### 概要

2026 年は、会の事業運営をより効率的且つ堅実に展開できるため、会費の調整や組織の再編を行います。昨年事務局の移転に伴って、事務局の人員強化も図り、質の高い会員サービスと事業支援を提供します。今年は 9 月に CCCJWEEK の開催など、CCCJ のブランド力を高め、グローバル化を促進します。一方、3 年目を迎える全会員例会は、今年も 6 回の日程を確定し、内外の講師を迎え、会の活動の周知や会員交流、ビジネスマッチングを図っていきます。

フェローシップグループは、活動を通じて、組織内のメンバー間の結束と協力を促進します。様々な角度から会員交流の企画をし、会員の相互理解を深める交流活動を実施します。会員増強委員会は一層の会員拡大と新入会員フォローに努めます。ビジネス開発グループは企業視察や業種別分科会を通して、ビジネス創出を支援します。渉外グループと中国グループは日本国内外で渉外活動を通じて、華僑・華人ネットワークの強化、会のブランド力の向上を目指します。総務グループでは、総務・財務を管理する総務委員会や情報発信を担う広報委員会、そして、全般運営のDX化を推進するデジタル委員会で会の運営を支えています。一方、昨年スタートした、インバウンドとスタートアップの協議会運営委員会も一層充実化を図り、横ぐし展開を目指していきます。

2026 年は会の基礎を一層固め、質の良い事業を展開し、堅実な発展のある一年を目指します。

2026 CCCJ 組織図 (案)



## 一.新たな組織体制(法定理事会・執行理事会・評議員会・グループ等)

2026年は、昨年に引く続き、執行理事会の下で委員会をグループ化し、常務副会長がグループ長として委員会の運営を指導する体制を取ります。五つのグループの下、委員会や部会、または分科会を設置し、事業を展開します。従来グループに中国グループを新設します。例会は会員活動の根幹であり、事務局が各関連のグループと連携して企画実施します。CCCJWEEKは特別プロジェクトとして、今年は秋に実施する予定です。

評議員会は、評議員を中心に専門チームを結成し、理事会への諮問・提言機能を強化し、在日華僑華人団体との連携を進めていきます。

政策委員会は理事会の直轄となり、組織の長期ビジョンや戦略的目標の検討、重要な政策や方針の策定に努めます。

事務局は、組織の成長に応じてさらに強化をし、理事会及び委員会の事業運営サポートと会員サービスの質の向上に注力します。

また、2026年も法定理事会、評議員会はそれぞれ3ヶ月に1回、執行理事会は毎月開催する予定です。

法定理事会	4回
執行理事会	12回
評議員会	4回
総会	1回

## 二.会全体の事業

2026年は、迎春会を始め、全会員例会、中国視察、9月のCCCJ WEEK2026を予定しています。

会員総会、迎春会(1月)
CCCJ WEEK2026(9月)(予定)
中国視察(企画中)
全会員例会(年6回)(2月12日、4月23日、7月30日、8月21日、10月15日、12月10日)

## 三.各グループ・委員会の事業計画

### 1.総務グループ(尚捷グループ長)

#### 1.1 総務委員会(古川鵬程委員長)

事務局員増加、体制の強化を図ることで、より迅速で質の高いサポートを提供していきます。財務の監査体制を構築し、定期的な財務報告を行い、財務の透明性を保ちます。そして、ガバナンス体制の強化を目指し、定款や各種規定の定期的な見直しを行い、理事会の透明性と会務運営の信頼性を高めます。

#### 1.2 広報委員会(林秀燕委員長)

HPのリニューアルを継続し、特に「会員広場」のシステム構築を目指します。この取り組みに

より、会員同士の情報交換が円滑に行えるプラットフォームを提供し、会員の利便性を高めるとともに、会員サービスの強化を図ります。また、外部 PR 活動の充実と内部広報の強化も重要な目標であり、情報が迅速に流通する体制構築を目指します。そして、インタビューシリーズを継続して実施する予定です。このシリーズを通じて、内外に対して組織の魅力を発信していきます。また、メディアとの付き合い方についても工夫し、組織の認知度向上に繋げていく予定です。

### 1.3 デジタル委員会（譚玉峰委員長）

事務局運営の効率化と透明化を目指し、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進します。会員サービスの向上にも注力し、特に賛助会員や新入会員へのサポートを強化し、会員の満足度を高めます。

## 2. 渉外グループ（徐志敏グループ長）

### 2.1 第一渉外委員会（張嘉樹委員長）

担当範囲：世界各国中華總商会との交流・提携推進。CCCJ の国際的なプレゼンスを高めることに注力します。

### 2.2 第二渉外委員会（半崎一広委員長）

担当範囲：日本政府/財界、香港/マカオ、若手新移民企業家団体。日本に根を下ろし、日本社会に認めてもらえる特徴のあるグローバル経済団体を目指します。

### 2.3 聯誼委員会（沈高平委員長）

聯誼委員会は、昨年引き続き、中国での聯誼活動を実施できるよう、しっかりと体制を整えていきます。主に上海で活動を行い、今後の状況に応じて、さらなる展開を目指していきます。

### 2.4 青年委員会（郭健委員長）

昨年同様、主に海外の青商組織と交流を深めることに貢献します。

## 3. 渉外中国グループ（王秀徳グループ長）

### 3.1 第一渉外中国委員会（森田慶祥委員長）

中国政府や地方間との交流、往来活動を推進します。

### 3.2 第二渉外中国委員会（周密委員長）

経済交流や企業提携などを推進します。

## 4. フェロシップグループ（船津康次グループ長）

2026年においても去年と同様に、会員間の交流を促進し、会員の事業発展とビジネスマッチングに貢献することを目指して、フェロシップグループのもと、5つの委員会が活動を展開します。

### 4.1 会員交流委員会（黒河靖彦委員長）

会員間の相互理解と交流を促進し、共存共栄を図るために、様々な会員向けの交流活動を定期的に計画、実施します。昨年より更に交流会の内容を充実させ、テーマを決めて会員に参加して

いただく形式の交流会も検討しています。

#### 4.2 研修セミナー委員会（平田雅子委員長）

セミナーや研修の企画をし、会員にとって役に立つ学びの機会を提供します。

#### 4.3 レクリエーション委員会（吉野有美委員長）

自然や文化などを通じて、楽しい雰囲気の中会員間の相互理解と交流を促進します。

#### 4.4 スポーツ交流委員会（田一輝委員長）

スポーツを通じて、会員間の相互理解と交流を深めます。

部会	活動内容	回数（予定）
会員交流委員会	交流会	6回
セミナー研修委員会	勉強会	2回
レクリエーション委員会（文化）	ジャンルに限らず多種多様な活動を企画	3回
スポーツ交流委員会	ゴルフ・登山・相撲・野球観戦など	3回
合計		14回

#### 4.5 会員増強委員会(正会員・賛助会員)（佐々木健一委員長・中馬哲委員長）

主に賛助会員の拡大と活性化を目指します。会員交流委員会と連携をしながら新入会員のフォローもしっかりとしていきます。

#### 4.6 次世代委員会（仮名）（郭健委員長）

次世代に CCCJ の存在を PR し、親しんでもらうことによって、会の活性化を図ります。

### 5. ビジネス開発グループ（段卓グループ長）

#### 5.1 産業視察運営委員会（蔣馳委員長）

国内外で産業視察を2回ほど実施します。

#### 5.2 業種別部会運営委員会（桜木翔委員長）

昨年設立された EC 分科会、不動産分科会、インバウンド分科会に加えて、AI ロボット分科会を設立する予定。会員のビジネスの幅を広げる支援を行い、会員間のネットワークを活性化させ、より多くのビジネスチャンスを生み出します。

視察活動	2回
分科会活動	8回

### 6. 特別 PJ 委員会

#### 6.1 CCCJ WEEK 2026 運営特別委員会

2025年のCCCJ WEEKをもとに、規模をより一層拡大し、団体会員と日本経済団体の参画を予定しています。ビジネスコンテストの規模拡大、セッション数の増加などにより、更なる内容の充実を図ります。

## 6.2 中国視察（王秀徳委員長）

昨年は5年ぶりの中国視察を再開しましたが、今年も魅力ある企画をしていきます。

## 7.外部連携協議会

### 7.1 インバウンド協議会運営特別委員会（譚玉峰委員長）

### 7.2 スタートアップ支援特別委員会（渡邊洋行委員長）

## 8.政策委員会(辛赤邑委員長)

政策委員会は昨年に引き続き、今年もテーマを設けて、会の中長期的な発展に貢献できる活動を行います。

以上